

申込集計表

集計日：2018年08月01日

様式Ver.	1
様式ID	00071
様式名	丘陵公園北エリア愛称
集計期間	
回答数	4

	愛称	愛称の意味を考えた理由について
国営備北丘陵公園北エリアの「愛称(ニックネーム)」について	さとやま賑(しん)・発見広場	さとやま庄原の伝統と文化に彩られた自慢の特産品やさとやまライフを発信し、来訪者に庄原の魅力を「新発見」してもらふ賑わいの広場になればと思います。
	こみゆこみゆマルシェ	女性に好まれそうな名称にしました。交流の英語コミュニケーションの前半をダブルにして混み込みのような語呂にしました。+フランス語の市場という意味のマルシェを付け加えました。
	ああ、遊。交遊！	are you→ああ遊・・・あなたはどうあそぶ？ 交遊→交流しながらとにかく遊ぶ。 遊びが、また遊ぶ機会がない作今、いろんな遊びを通して交流であったり、出会いであったり、なにかワクワクしてくるzoneとなればと思います。
	しょうばら 美ほくパーク	備北を美ほくにあて字しました。 庄原(備北)は、美しい風景、美味しい食材の宝庫ですが、県内では一定の知名度はあれど、中国地方や全国的にはまだまだ知名度は低く、観光も低水準であると認識しており、この愛称により、美しい美味しい備北を連想させ、「美」以外の文字をひらがなにすることで、親しみや優しさをイメージし、お子様からお年寄りまでわくわくしていただけたらと思います、今回の愛称を考えました。 庄原市民、広島県民を始め、全国から観光に来られる全ての方が、備北地域の素晴らしさを見つけるきっかけになり、みんながハッピーになれる体験の始まりがこの愛称になってくれることを思い、 将来的には、「美ほく」ブランドで商品開発や農作物の認証制度を進めてより庄原の発展にも寄与できると確信しております。